

平成 19 年度第 6 回法務委員会(議事録)

日 時 平成 20 年 2 月 13 日(水) 1300 ~ 1700

場 所 操縦士協会事務局

出席者 熊坂、長谷川、友田、染谷、池内各委員

1. 706 裁判、907 裁判のその後について

907 裁判の控訴審 1 月 22 日結審が行われ、弁護側主張を強く印象付けた形で終わり判決は 4 月 11 日

弁護士会館で行われたシンポジウム参加報告(1 月 21 日)

2. 事故に遭遇したらの小冊子作成関連について

緊急連絡網の作成に関しては、理事会に提言している。

今後はパワーポインターで使用するパネル作成に取り掛かる。

3. 安全な社会の実現を目指して

神奈川大学堀野助教授の勉強会は、時期を再度調整し来期に延期するテーマは引き続き下記のような内容で検討していただく。

- ・ 科学的事故調査(交通事故調査の改善に向けて)
- ・ 道交法改正で刑事訴追のありかたがどのように変わっていくか?
- ・ 現行法は国際的に見て、罰則の適応等が適切なのか?

4. 907 裁判の判決を受け、東海大学 池田良彦教授に学習会の講師として法務委員会に出席していただく。(日程については 2 月中に周知の予定)

5. 航空・鉄道事故調査委員会への表敬訪問について

事故調から連絡があり、企画調整課の今野課長補佐と改めて、訪問の件について依頼した。10 月から安全運輸委員会に向け、国会の法案審議待ちであるが、基本的に海難審判庁の原因究明を目的とした調査を一緒にやるというニュアンスで考えてほしいという事。また審判の分野は切り離して独立させる。

業務体制等内容が煮詰まってきたら、訪問取材をして P 誌に掲載予定。

6. 次期44期法務委員会の予算と活動計画について

前年度ほぼ踏襲。将来の活動に向け委員の拡充と育成に力を入れることで一致した。

7. 次回開催日程

3月は流会。4月は2月末日まで周知予定